

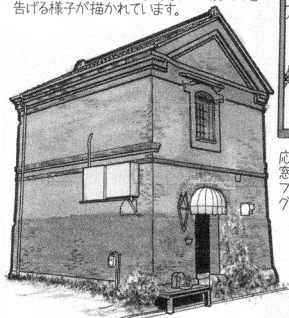
# ふらと歴史建物探訪 NO.119 上野広小路周辺

■黒澤ビル(旧小川眼科病院・国登録有形文化財)

モリブネキ

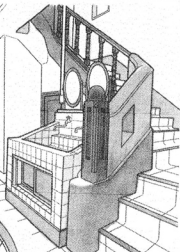


正面玄関入口の欄間には「鶏鳴告曉」と題されたステンドグラス。雄鶏が高らかに夜明けを告げる様子が描かれています。



■Once Upon A Time  
台東区は戦災で多くの建物が焼けましたが、上野1丁目の裏通りには明治時代に建てられたレンガ造りの蔵が現存。今は洒落たバーとして営業中です。少し黒ずんだイギリス積みレンガの壁。店名の通り昔々の東京がここに残されています。

ハーブコーン型のひさしが並んだ外観が特徴的な昭和4年築の建物。施主は辻ホーームの治療能力を注いだ眼科医・小川剣三郎。内部には実兄でアメリカ系ステンドグラスの技法を日本に伝えた小川三知の作品が今も多く残されています。



水場を用むよう配置された階段。優美な曲線を描く人造石研ぎ出し仕上げの手摺り壁と、木製の親柱の組み合わせが素敵。



玄関風除室に置かれた施主の胸像。7年アオイをモチーフにしたステンドグラスの向こう側は小さな応接間で窓や照明に趣向をこらしたステンドグラスが用いられています。



応接間の内開き窓は椿をモチーフにしたステンドグラス。

応接間の照明。下面にはアールデコ調の裸婦像が。



■燕湯(国登録有形文化財)

上野3丁目にある銭湯で現在の建物は昭和25年築。折り上げ格天井の脱衣場、高い天井が気持ちいい浴室。富士山の溶岩で作られた浴室の岩山は貴重なもので建物全体ともこの国の有形文化財に登録されています。午前6時から48℃のぬるい朝湯に入れることで知られる銭湯。

今回のコース 東京外口銀座線上野広小路駅→黒澤ビル  
→Once Upon A Time→燕湯